

GUARDIANWALL V6.0 for Linux リリースノート

GUARDIANWALL V6.0.05-3008 for Linux から GUARDIANWALL V6.0.11-3020 for Linux において、以下の修正変更がなされました。

[V6.0.05-3008 から V6.0.09-3017 までの変更履歴]

1. 機能追加

(1) タイムスタンプハッシュ関数追加

SHA256 を追加致しました。また、タイムスタンプのデフォルトを SHA256 へ変更致しました。

(2) 非 MIME メッセージ、charset 未指定時の文字コード推測

非 MIME メッセージの文字コード、又は MIME メッセージで charset 未指定時の文字コードを推測し、管理画面の本文閲覧で表示させるよう機能追加致しました。

(3) ヘッダ解析用バッファサイズの拡大

ヘッダアドレスを解析するためのバッファサイズを 32KB へ変更致しました。

2. 機能強化

(1) ログ収集処理: 検査サーバー側の処理改善

検査サーバー側の動作について、データ生成処理改善および状態チェックの強化を致しました。

- 作業領域の空容量チェック(検査サーバー)
- 転送データ生成処理の完了チェックの時に、生成処理を実行しているプロセスの有無確認

3. 不具合の修正

(1) バックアップ任意期間指定の問題

テープへのバックアップ時の任意期間指定で、「開始日」に当日より未来の日を指定し、「終了日」に過去の日を指定すると当日分もバックアップできてしまう問題を修正致しました。

(2) WALL 保存・保留メールメッセージのダウンロード時のファイル名

Windows 上でのファイル名に使用できない文字集合の場合に、その文字を”_”アンダーバーに置き換える処理が実施されていない不具合があり、これを修正致しました。

(3) グループアップロード時にコメントが空白だとアドレス数が”+1”で表示される

アップロードファイルのコメント部分を空白にして、アップロードされた際、その行をアドレス行と読み違えていた不具合があり、これを修正致しました。

(4) ディスクリストア完了通知

リストア対象として「メール」「ウェブ」の両方を選んだ際に、完了通知メール本文内の対象データが空白になる不具合があり、これを修正致しました。

(5) リストアデータ検索・閲覧 CSV ダウンロード修正

時間条件を指定した場合、CSV ダウンロード結果に時間条件が機能していない不具合があり、これを修正致しました。

(6) グループ管理の LDAP インポートが失敗する

グループ登録において、LDAP インポート実行時、LDAP サーバーに接続できずエラーとなり、メールアドレスの抽出に失敗する不具合があり、これを修正致しました。

(7) 検査サーバーの「稼動状況」確認画面の表示

検査サーバーの MSP が postfix と設定されている状態で、その配送用のサービスプロセスが起動していない場合、管理画面の検査サーバー「稼動状況」画面にて、「sendmail が停止中です。(再送待ちメールの送信ができません)」と表示される不具合があり、これを修正致しました。

「postfix が停止中です。(メールの送信ができません)」に修正。

※ qmail も同様に修正致しました。

(8) 統計情報処理総数出力値

保留後削除件数を削除件数にカウントしてない不具合があり、これを修正致しました。
また、保留後送出件数をルール(default)適用のカウントには含めないように変更致しました。

(9) 配送ログが削除されない不具合修正

管理サーバーに転送後の配送ログが、指定保存期間を過ぎても削除されない不具合があり、これを修正致しました。

(10) java プログラムの設置位置変更

管理サーバーだけインストールした環境において、アーカイブ検証が実施できない不具合があり、これを修正致しました。

(11) リストアログ閲覧

リストアディレクトリに配送ログが存在せず、他のログが存在している場合各項目のタブが表示されず他のログが閲覧できない不具合があり、これを修正致しました。

(12) 保留メール管理

ページリンクが省略されない不具合があり、これを修正致しました。

(13) 「配送ログ・検索閲覧」画面

期間選択において“年、月”の値が正常に表示できない不具合があり、これを修正致しました。

(14) グループアップロード登録時の誤表示

管理サーバー、検査サーバーが別々で稼働している環境で、グループのアップロードを実施すると、登録前の確認画面において既存のグループであっても、必ず「新規」と表示されてしまう不具合があり、これを修正致しました。

(15)UTF-8 テキストの正規表現検査

charset=UTF-8 の本文と UTF-8 添付テキストファイルの正規表現検査が行われない不具合があり、これを修正致しました。

(16)保留メール送出、削除処理の排他制御

処理完了後メッセージファイル削除前にロックが解除されてしまう不具合があり、これを修正致しました。

(17)統計情報 キーワード検査状況、MIME タイプ検査状況の messages 件数

Other だけに集計されるようなメールをメール数に計上していない不具合があり、これを修正致しました。

(18)閲覧結果のダウンロード不具合

管理画面に HTTPS で接続した場合、閲覧関係のログがダウンロードできない不具合があり、これを修正致しました。

(19)内部ドメイン名

内部ドメイン名の設定変更が管理サーバーの設定ファイル admin.conf に反映していない不具合があり、これを修正致しました。

(20)キーワード登録

キーワード登録において、コロン":"のみを指定すると登録できない不具合があり、これを修正致しました。

(21)登録上限数を超えた場合のキーワードセットや MIME タイプセットの追加

「キーワード」および「MIME タイプ」のセットを追加するとき、登録上限数(デフォルト: 64)を超えているにも関わらず、そのセットの追加ができてしまう不具合があり、これを修正致しました。

(22) RFC2231 ファイル名パラメータ

本文閲覧画面で添付ファイル名一覧を UTF-8 で出力するときデコードしてない不具合があり、これを修正致しました。

(23) ログ収集処理にて失敗する問題の修正

検査サーバーが各種ログファイルを更新中に該当ログファイルの収集処理を行うと、収集処理に失敗する可能性があり、これを修正致しました。

(24) 大容量ファイルを扱う時のログ収集処理失敗

ログ収集処理において、転送ファイルが大きい(2GB 超)場合に失敗する不具合があり、これを修正致しました。なお、本不具合は、転送対象となるファイル生成後(gzip 圧縮後)のサイズが 2GB を超える場合のみ発生します。

※ 作業ファイルは、デフォルトで"/opt/Guardian/Admin/tmp"に作成されます。

(25) キーワードパターンマッチ処理

添付ファイル、JIS 以外の添付テキストファイルの検査時、検査用バッファ(4096 バイト)に検査対象テキストの段落グラフを読み込む際 SJIS2バイト目で切れる場合があり、これを修正致しました。

(26) Content-Transfer-Encoding フィールドの値取得修正

CTE の値を指定文字列のまま使用していたため、空白やコメントが存在すると、本文表示できない不具合があり、これを修正致しました。

(例: CTE の値→7bit の後ろに空白)

(27) BinHex デコード処理

マーカー文字圧縮の伸張処理に不具合があり、これを修正致しました。

(28) キーワード式登録数超過時のエラーメッセージ

キーワード条件登録画面でキーワード式登録数超過エラーが発生したとき、誤り一覧にエラーメッセージが表示されない不具合があり、これを修正致しました。

(29) キーワード更新でエラーの時の誤り一覧の表示

キーワードセットを更新する際のフォーマットチェックで問題がある場合の「誤り一覧」において、問題発生箇所の行番号が表示されない不具合があり、これを修正致しました。

(30) 稼動状況画面にてプロセス停止時のメッセージ誤表示

検査サーバーのメール保存処理プロセス(mw_store)が停止している場合に稼動状況画面上に表示される警告メッセージに間違いがあり、これを修正致しました。

旧:「STORE サーバーが停止中です。(メールの受信ができません)」

新:「STORE サーバーが停止中です。(メールの保存処理ができません)」

(31) 保留メール処理時の通知送信条件修正

【管理者宛】

[NoticeMessage]

NotifyAdmin_Cance=yes/nega

NotifyAdmin_Approve=yes/nega

を指定して保留時に管理者宛通知を送っていない時、保留後削除、保留後送出处理時に管理者宛に通知が送られない不具合があり、これを修正致しました。

【受信者宛】

[NoticeMessage]

NotifyRecipients=TRUE

NotifyRecipients_Cance=nega

NotifyRecipients_Approve=nega

を指定して保留時に受信者宛通知を送っていない時、保留後削除、保留後送出处理時に受信者宛に通知が送られない不具合があり、これを修正致しました。

4. 機能変更

(1) 検査処理のタイムアウト処理

デフォルトのタイムアウト時間 480 秒が、検査動作時のみ有効であったのを検査関数でも有効になるように変更致しました。

なお、タイムアウト値で打ち切られた場合は、検査が完了しているパートまでの結果に基づいてルール評価、動作適用、検査動作が実施されます。

(2) mss.conf の識別子長を約 8KB へ拡張

セクションの名前、キーの名前、指定文字列の識別可能最大長を 1023 から 8191 に拡張致しました。

(3) 保存メールアーカイブ削除方法変更

RAID 等の遅延書込みに対策として、予定削除量超過後、削除毎に sleep(デフォルト 15 秒)を実行するよう変更致しました。

(4) 通信時バージョンチェック

管理サーバーと検査サーバーの通信時、バージョンチェックをするよう変更致しました。

※ 管理と検査(検査に含まれる管理)のバージョンに差異がある場合、認証エラーが発生します。

(5) OS で hostname 未設定時、検査サーバー追加不可

管理サーバー、検査サーバーの hostname 未設定時は、検査サーバーの登録が不可になるよう変更致しました。

5. セキュリティフィックス

(1) PHP のバージョンアップ

管理画面に使用している PHP を、4.4.2 にバージョンアップ致しました。

(2) apache のバージョンアップ

管理画面に使用している apache を、1.3.36 にバージョンアップ致しました。

[V6.0.09-3017 から V6.0.10-3018 までの変更履歴]

1. 不具合の修正

(1) データ転送方式をサイズ制限にした場合の空き容量検査の問題修正

指定したサイズ制限値より実際の空容量が少ない場合の容量チェックにおいて、転送処理エラーになる不具合があり、これを修正致しました。

(2) 管理者通知なし、代替管理者通知ありの場合の保留後処置通知メール設定 保留時の通知設定を

- ・管理者通知無し(チェックボックス OFF)
- ・代替管理者通知有り(アドレス設定有り)

にした場合、保留後送出または保留後削除時に管理者に処置通知メールが送信されてしまう不具合があり、これを修正致しました。

(3) 代替管理者アドレスを複数設定しても、保留後送出/保留後削除通知が1通しか送信されない

保留時は複数の代替管理者に通知が送信されるが、保留後送出/保留後削除処理時の処理通知メールが複数の代替管理者に送信されない不具合があり、これを修正致しました。

(4) 通知文の標題が長い場合の不具合修正

通知文の標題に日本語20文字以上の設定をおこなった場合、表示や通知文の該当箇所が文字化けする不具合があり、これを修正致しました。

(5) 統計情報の CSV ファイル中の表記ミス修正

メール統計情報のCSVファイル中の件数ランキング表示の文字列が余分に出ている不具合があり、これを修正致しました。

(例: Total: 100 addressaddresses "address"という文字列が2つ出力されている)

2. 機能追加

- (1) 管理サーバー起動スクリプト status コマンド
起動スクリプト (/etc/init.d/Guardian.admin) において status コマンドを追加致しました。
- (2) Voltage Secure Mail V2 暗号メール識別処理追加
バージョン 2 形式の暗号メールの識別処理を追加致しました。

3. 機能変更

- (1) MSP が postfix である時の状況確認
検査サーバーの MSP が postfix の時、[共通]-[検査サーバー管理]-[状況確認]の「稼動状況」画面におけるプロセス一覧に表示する対象プロセスに nqmgr と oqmgr を追加致しました。
postfix が正常に稼動している場合にリストされるプロセスは、以下となります。

- ・master
- ・qmgr あるいは nqmgr あるいは oqmgr
- ・pickup

4. セキュリティフィックス

- (1) apache のバージョンアップ
管理画面に使用している apache を 1.3.37 にバージョンアップ致しました。
- (2) PHP のバージョンアップ
管理画面に使用している PHP を 4.4.4 にバージョンアップ致しました。

[V6.0.10-3018 から V6.0.11-3020 までの変更履歴]

1. 不具合の修正

(1) Subject の文字化けに関する通知文設定の不具合

通知文設定において、日本語を含む30文字以内の文字列で、かつ、MIME エンコードすると 70 文字以上になるような Subject が文字化けしてしまう不具合を修正致しました。

(2) 「管理サーバーパラメータ」メール検査サーバ未登録時の不要ディレクトリ生成

「共通」→「管理サーバー管理」→「基本設定」→「管理サーバーパラメータ」画面において、メール検査サーバーが登録されていない状態で、

(メールログ保存ディレクトリ、メールアーカイブ保存ディレクトリ非表示)設定更新すると、/(ルート)ディレクトリ直下に /deliver、/archive 等の不要なディレクトリが生成されてしまう不具合を修正致しました。

(3) テキスト抽出ライブラリの修正

メール添付ファイルのテキスト抽出処理に使用しているライブラリが、【Adobe Acrobat8 の PDFMaker】で作成された PDF ファイルを処理した際に、次の現象が発生する場合があります、テキスト抽出ライブラリを修正致しました。

1) CPU が高負荷となる。

2) システムテンポラリ領域に大きな一時ファイルが生成される。

3) システムが高負荷状態などで、一定時間内にテキスト抽出処理が完了せず抽出処理を中断したときに一時ファイルの削除が行われない。

※ キーワード検査を行っていない場合は、上記現象は発生致しません。

※ 本修正は、上記現象を回避するものであり、Adobe Acrobat8 の PDFMaker で作成された PDF ファイルのテキスト抽出に対応した(=キーワード検査が可能になった)ということではありません。

(4) メールアーカイブファイル転送時のローテーション処理不具合修正

管理サーバーが実施する、検査サーバーからのメールアーカイブ転送処理において、管理サーバーのメールアーカイブ保存ディレクトリがディスクフルの際、本来の動作仕様ではメールアーカイブ単位で古いものから削除していくところ、保存ディレクトリ配下のすべてのメールアーカイブデータを一括削除してしまう不具合があり、これを修正致しました。

以下、すべて満たす場合に発生します。

- ① 管理サーバーが、2 台以上の検査サーバー(メール)を管理している。
- ② 管理サーバーに、2 つ以上のメールアーカイブ保存ディレクトリを設定している。
- ③ 管理サーバー上のメールアーカイブ保存ディレクトリがすべて Full であり、新しいアーカイブデータを保存する為に必要な空き容量がない。

(5) 「個別処理方式」保留メール操作に関する不具合

「個別処理方式」における保留メール操作にて、ホスト名にハイフン'-'が入ると操作を実施できない不具合を修正致しました。

(6) 検査・配送ルール編集画面でのルールカラムの区切りに関する不具合

検査・配送ルールの数値条件に以下の設定を行い、再度ルールのトップ画面から編集画面に移動した場合、":"横の半角スペースが欠落してしまう不具合を修正致しました。

例) REGEX(target=subject, pattern="Re: test") > 0

(7) 検査サーバポートと管理用ポートとの競合チェック

プロキシポートの設定画面において、検査サーバーの管理用 apache のポートと競合しているかどうかのチェックが行われていない不具合があり、これを修正致しました。

(8) メール送信プログラムの日本語サブジェクト文字化け対応

通知メールのサブジェクトが文字化けしてしまう不具合を修正致しました。

(9) ldap_import.pl サポートスクリプトの不具合に関する修正

コメントのないグループを指定して LDAP インポート用サポートスクリプト ldap_import.pl を使用すると、管理画面のグループ編集画面のアドレスリストに“#COMMENT:”と表示される不具合を修正致しました。

(10) ラージファイル対応

2GB 以上のアーカイブファイルが存在した場合、画面にファイルサイズがマイナスの値で表示される不具合、及び 2GB を超えるファイルや空き容量でも 2,048MB と表示される不具合を修正致しました。

(11) インストールメニューでの製品名非表示

インストーラー起動時のメニューに製品名が表示されない不具合を修正致しました。

(12) 検査・配送ルール説明が小文字変換される不具合

検査・配送ルールの編集・アップロード時に、“説明”の半角大文字英字が小文字に変換される不具合を修正致しました。

(13) GUARDIANWALLv5.3 以前の設定引継ぎ

GUARDIANWALLv5.3以前の環境において、内部ドメイン名を複数設定している場合、バージョンアップを実施すると、設定が引き継がれない不具合を修正致しました。

また、サポートスクリプトrescue.plを使用した場合に、エラーが出力され、設定が引き継がれない不具合も修正致しました。

影響する項目は、

「メール」→「ログ閲覧」→「統計情報」→「メール処理総数」になり、内部/外部からの発信総数が正しく表示されません。

(14) ldap_import.pl フィルター式の UTF8 化

グループ LDAP インポートのサポートスクリプトでフィルター式を日本語対応致しました。

(15) メールアーカイブ保存ディレクトリ未設定時のバックアップ実行

メールアーカイブ保存ディレクトリが未設定時、バックアップ画面にて

「チェック」「実行」が入力チェックエラーの為、実行できない不具合を修正致しました。

(16) 保留メール画面での本文同報者表示

保留メール本文閲覧画面において、同報者の情報が存在しているにもかかわらず表示されない不具合を修正致しました。

(17) [guts_daily.sh]Linux 標準エラーメッセージ抑制

Linux 上で、/opt/Guardian/Admin/bin/guts_daily.sh が標準エラーを出力してしまう不具合を修正致しました。

2. 機能追加

(1) テキスト抽出プロセスの一時ファイル対策

テキスト抽出時の一時ファイルの削除を以下のタイミングで行うようにしました。

- 1) テキスト抽出処理終了時
- 2) 1時間ごとに実行される不要ファイル削除処理
- 3) 毎日一回実行されるスケジュール

3. 機能変更

(1) 検査サーバーの起動/停止/再起動スクリプトのエラーメッセージの記録

管理画面から検査サーバーの起動/停止/再起動を行いエラーが発生した場合、スクリプトが端末に出力していたメッセージをログに記録するよう変更致しました。

(2) 通知メール SMTP 接続時エラーのログ出力

通知メール送信時に SMTP レベルでエラーが発生した場合に、そのエラーをログへ出力するよう変更致しました。

(3) 大規模ファイルアップロード機能高速化

「検査・配送ルール」「キーワード」「MIME」画面でのアップロード処理において、例えば 2000 行を超えるようなファイルアップロード時でも、タイムアウトせずにアップロード処理が行えるように変更致しました。

以上